

令和6年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	16	議席 番号	8	氏名	山 藤 陽 子 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	女性のための健康施策（HPVワクチン接種対象者の取組と子宮頸がん検診について）			<p>(1) 令和4年度から再開されたHPVワクチン接種が実施され2年が経過した。当市のHPVワクチン接種対象者、キャッチアップ対象者への取組について、子宮頸がんの早期発見のためには定期的な検診が不可欠である。今後、検診を受けやすくするための施策があるのか伺う。</p> <p>① 12歳から16歳までのHPVワクチン接種対象者の接種実施人数及びキャッチアップ対象者の接種実施人数とその中でワクチン接種を完了した人数を伺う。</p> <p>② HPVワクチン接種の周知方法を伺う。</p> <p>③ HPVワクチン接種についての問合せ件数及び内容について伺う。</p> <p>④ HPVワクチンキャッチアップ接種対象者の集団接種を実施することにした経緯と申込人数を伺う。</p> <p>⑤ 当市の子宮頸がん検診人数は増えているのか（平成30年から令和5年までに検診を受けた年度別人数）。また、年代別の人数及び無料クーポンを受け取った人の検診実施の割合と検診で陽性が判明した年齢層を伺う。</p> <p>⑥ 厚生労働省のホームページに令和5年8月9日の第39回がん検診のあり方に関する検討会の参考資料としてHPV検査単独法（HPVウイルス陽性検査）について掲載されている。今後、当市でも検診を取り入れていくことが可能か伺う。</p> <p>⑦ 未成年者は保護者の同意がないと接種できないため、こどもと一緒に保護者も正しい知識を得ることが必要である。小中学校で研修会、出前講座を開催することは可能か伺う。</p> <p>⑧ 各種の撲滅月間に市役所をライトアップする啓発運動は素晴らしい取組である。WHOが主催する「子宮頸がん撲滅世界一斉イルミネーション」と連動し、Teal Blue Japanキャンペーンとして11月17日・18日に世界各地でライトアップが行われている。これに合わせて、市役所をティールブルーにライトアップすることは可能か伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長